



田中豊文 議員

## 消防団員への報酬支給方法について

**問** 6月定例会の一般質問において、消防団員への報酬の支払い方法について、「これまで分団へ支給されている方法を、総務省の指導どおり団員への直接支払いとするべきである」との指摘に対し、「各分団の判断で直接支払いも出来ると考えている」との答弁があったものである。ところが、その後の消防団の会議においては、この答弁を否定する説明があったとのことであり、事実関係を問うとともに、6月議会の答弁に基づく支給方法を速やかに各分団に伝えることを求める。

**答** 6月議会の答弁のとおりであり、選択制に是正するものであるが、手続上の時間を要することも含めて説明してある。

## 町ホームページについて

**問** 町民をはじめとするユーザーにとつて使いやすい、求める情報が得やすいホームページにするための改善が必要であると考えるが、さらには、発信した情報が受け手に伝わったかどうか、伝わった情報が生かされているかどうかまで確認することが必要であり、単なる情報伝達の手段としてではなく、情報発信がもたらす成果まで想定する、戦略的広報の視点に立ったホームページへの改良が必要である。戦略的広報を進める観点から、ホームページやフェイスブックの活用に取り組むために、職員の意識改革も含めた広報の改革に取り組む必要があると言え、ホームページの改修方針とともに、ソーシャルメディアを活用した広

報のあり方やSNS版町長との対話室の設置などについて問う。  
**答** わかりやすく使いやすいホームページとなるよう、今年度改修に取り組み、誰でも容易に検索が出来るような運用に努める。

## 地域猫活動について

**問** 野良猫問題を糞尿被害等の個別の問題として捉えず、猫をキーワードとした地域づくりの対策として捉えたものが地域猫活動である。この地域猫活動は、野良猫の頭数削減に効果があるとして全国各地で取り組まれているもので、野良猫を迷惑な存在として排除するのではなく、地域づくりのための資源として生かすものである。猫に関するトラブル解決とともに、活動ボランティア、地域、行政の三者が協働して取り組むことで、地縁づくりやネットワークづくりの環境醸成にもつながり、心のゆとりや優しさのある成熟した住みよい地域社会とすること

が可能と考える。コロナ禍にあつて殺伐とした社会になりつつある時だからこそ、素晴らしい自然環境を持つ周防大島で地域猫活動を成功させることで、誰もが住みたくなるような地域づくりを実現することができると考えるが、地域猫活動に対する町の認識及び来年度に向けての予算化の方向性を問う。

**答** 現状の課題や地域猫活動の有効性は町としても認識しており、本町の実情に合った方策について、官民協働で検討を進め、要綱の制定や不妊去勢手術費の助成など、来年度の予算化に向けて取り組みたい。

